

岐阜県シルバー人材センター連合会主催

美濃市シルバー人材センター協力

# 剪定体験会



## シルバー人材センター

岐阜県シルバー人材センター連合会（以下、「県シルバー連合会」と呼ぶ。）及び県下41ヶ所にある市町村シルバー人材センターでは、高齢者が年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」の実現をめざしています。

そこで、県シルバー連合会は岐阜労働局からの委託を受け高齢者活躍人材確保育成事業として

- (1) シルバー人材センターへの入会を検討中の未会員
- (2) 職種転換希望をしている既存会員
- (3) 昨年度1年間就業していない既存会員

を対象に、新たな分野で活躍するための知識や技能を身に付けていただくことを目的として、「技能講習会」や「就業体験会」、「セミナー」を開催し、人材育成にも力を入れています。

### 「技能講習会」や「就業体験会」

「技能講習会」や「就業体験会」には、県シルバー連合会が主催する県民対象のプログラムと、各市町村シルバー人材センターが独自で開催する市町村在住者のみを対象とするプログラムがあり、共にプログラムの選定については毎年見直しが行われています。

県シルバー連合会のプログラムで具体例を挙げると、令和5年度ではそれまで開催されていた「障子・ふすまの張替講習」がなくなり、「遺跡発掘調査」、「パソコン初心者講習（Word・Excel）」、「スマートフォン講習」、「介護予防・家事援助」、「清掃」、「放課後児童保育」、「剪定講習」、「送迎・福祉有償運送（修了証発行）」、「刈払機安全衛生講習（修了証発行）」、「整理収納アドバイザー2級（資格取得）」といったプログラムが開催されました。

そして令和6年度には、「テールゲートリフター特別教育」や「スーパーのおしごと体験」のプログラムが新設されました。

もしシルバー人材センターへの加入を検討しているのであれば、無料なので是非参加してみてください。

（別添 令和6年度 講習会・就業体験パンフレット等をご参照ください。）

## シルバー人材センターでの剪定業務の実状

シルバー人材センターでは働き方によって、「請負・委任」、「派遣」、「有料職業紹介」の就業形態があつて、中でも一番多いのは「請負・委任」で、岐阜県の場合は、どの市町村のシルバー人材センターでも「剪定業務」と「草刈り業務」がその多くの割合を占めています。

これは、「剪定業務」や「草刈り業務」は、公的機関からの施設の環境整備依頼だけでなく、個人宅の庭木の手入れや果樹園での摘蕾や収穫の作業といった高齢のお客様が自分でできなくなった作業の依頼が多いからだそうです。

でも、「剪定業務」ではトリマーを、また「草刈り業務」では草刈り機を安全に扱う技術が必要となるため、行うことができる会員数は少なく、シルバー人材センターでは依頼に対して供給が追いつかない“人手不足分野”となっています。

このため、毎年、県シルバー連合会や各市町村のシルバー人材センターでプログラムの見直しながなされても、「剪定講習（数日間かけて学ぶ技術講習）」と「剪定体験（半日～1日の就業体験）」は必ず選考に残り、開催されています。

令和5年度、県シルバー連合会は「剪定講習（5日間）」を美濃加茂市で、「剪定講習（3日間）」を大垣市の2会場で、「剪定体験（半日）」を美濃市の1会場で開催しました。

また、市町村シルバー人材センターでも独自に「剪定体験（1日）」を開催したところもあります。

## 岐阜県シルバー人材センター連合会主催 剪定体験プログラム

これから再就職先をお探しになるシニアの方々が、選択肢の1つとしてシルバー人材センター会員になることを検討する材料になればという思いから、高齢者生きがいづくり応援窓口は、未会員でも参加が可能な「就業体験」のうち、例年人気のある「剪定体験」及び「入会説明会」の取材を行いました。

令和5年11月13日、気持ちの良い秋晴れの下、美濃市小倉公園では県シルバー連合会主催の「剪定体験(半日)」及び「入会説明会」が開催され、県内各地(岐阜市、山県市、関市、多治見市)から8名(内、会員3名、未会員5名)の参加がありました。

また、公園に隣接している美濃市図書館周辺では、美濃市シルバー人材センター独自の「剪定体験(1日)」も同日開催され、美濃市内から10数名が参加する姿がありました。

取材をさせていただいたのは県シルバー連合会主催のプログラムの方で、下記のとおり半日のカリキュラムとなっていました。

遠方からも気軽に参加できる配慮がありがたいですね。

時間	体験内容	会場
9:15~9:30	・開式 ・オリエンテーション	美濃市文化会館
9:30~11:15	・剪定体験	美濃市小倉公園
11:15~12:00	・閉式 ・入会説明会	美濃市文化会館

### (1) 開式

はじめに、会場となった美濃市シルバー人材センター理事長武藤様より、「70代、80代は働きざかり。元気だから働くのではなく、働いているから元気なのだ!!」という美濃市シルバー人材センターのキャッチフレーズと共に、「皆さまにはそれぞれのお住まい地域で、環境整備の一役を担って欲しい。」という期待のこもったご挨拶がありました。

### (2) オリエンテーション

主催者である県シルバー連合会の藤田様より、「就業体験の実施要領」をもとに、就業体験への心構えと留意事項についての説明がありました。

また、剪定業務にあたる際にはヘルメットや滑り止めの利く靴の着用を心がけること、刃物を扱う業務なので、ご自身はもちろん、周囲の方々にも怪我をさせることがないように、安全には十分に配慮するようにとの注意喚起がなされました。

### (3) 剪定体験

「剪定体験会」では講師の技を間近で見学できるだけでなく、講師の仕事道具と参加者が持参した道具との使い勝手を比較したり、剪定作業を体験したり、直に講師へ様々な質問をすることができるのが魅力となっています。



参加者はみな自前の作業服と軍手を着用し、貸し出されたヘルメットを被って美濃市文化会館から実技会場である小倉公園へ徒歩で移動。

移動中には、初対面ながら参加者同士で「他の体験会に参加したことがあるか。」「自宅での剪定経験があるか。」等々、会話が弾んでいた。



実技会場に着くと、就業体験を始めるにあたって、今回講師役を務めてくださる美濃市シルバー人材センター会員の太田様(75)と小瀬木様(74)からの挨拶と「剪定業務」についての説明があった。

太田様は剪定業務を担当して9年目、小瀬木様は剪定業務を担当して8年目。両名とも大ベテランだ。

#### 「剪定業務」について

- ・シルバー人材センターでは、基本的にワークシェアリングの観点から、1つの仕事に複数の会員が交代で就き、少しでも多くの会員に就業機会を広げている。  
しかし「剪定業務」は、既存のお客様の対応で手一杯で、新規のお客様の対応ができていない状況にあるため、例外的に働きたいだけ働くことができる。
- ・「剪定業務」の就業形態は「請負」である。  
請負う会員ひとりひとりが個人事業主として働く。
- ・基本的に「剪定業務」で使う道具や軽トラックは、請負う会員自身が購入・維持する。  
稀に道具の貸出しを行っているセンターもあるので、所属センターに確認するとよい。
- ・1人で「剪定業務」の作業をするのは危険なため、依頼の規模に合わせ、必ず2名以上のグループを組んで協力して行う。



### 剪定作業に取り掛かる前の Point

- ・前以てブルーシートで養生をしておくとして作業終了後に刈り込んだ枝木や葉の片づけ作業が容易になる。  
(今回は公園の通路や公園駐車場等に敷いた。)

先生、椿がきれいに咲いていますがどうしたら?



体験会  
参加者様

### 剪定作業の Point

- ・刈り込み鋏(一般的に両手で扱う大型の鋏)で少しずつ樹形を整えるのは重労働なので、ヘッジトリマー(生垣や樹木の剪定に使用する電動刈り込み機)を利用するとよい。
- ・花がつく植栽は、依頼を受ける際に花や花芽の扱いについてご要望をお聞きする。



生垣の表面に滑らかな丸みがかかるようにね

### 生垣の樹形を整える作業 Point [上面]

- ・生垣は通路手前に向けゆるやかに斜面をつける。(左写真参照)
- ・一度切った後、葉や枝を手で払い、もう一度滑らかになるよう切ると美しくなる。



生垣の側面は下から上へ向かって刈込むですよ

### 生垣の樹形を整える作業 Point [側面]

- ・生垣は側面も整える。
- ・ヘッジトリマーは下から上に向かって動かす。(左写真参照)



ヘッジトリマーは  
角度とスピード  
が大事ですよ

#### ヘッジトリマーの扱い方 Point

- ・生垣の上部を刈込む際は、ヘッジトリマーの刃先を少し下げ、自分を中心に半円を描くように動かす。
- ・急いで刈り込むと高さが歪んでしまうため、1mを3~4秒かけて進むのを目安とする。



体験会  
参加者様

#### ヘッジトリマーの購入 Point

- ・ヘッジトリマーには、コード付きとコードレス（バッテリー式）があるが、断然コードレスがお勧め。
- ・コード付きのヘッジトリマーは、誤ってコードを切る恐れや、周辺を歩いている人がコードに気づかずひっかけ怪我をする危険性がある。
- ・コード付きとコードレスとは準備に要する時間が30分違う。  
（コード付きは電源を探して延長コードの太鼓リールにつなぎ、周辺を歩く人が延長コードに引っかからないようテープで固定する等の準備に時間がかかる。）
- ・バッテリーは半日持つが、念のため予備を1つ持つと良い。

体験会  
参加者様



### 剪定鋏を使っでの作業 Point

- ・生垣の表側をヘッジトリマー等で刈込んだ後、切られた断面が1cmくらいの太い枝については剪定鋏で5cm程度奥の位置で切る。
- ・植栽の足元の枯れた見栄えの悪い枝を剪定鋏で切る。



先生の剪定鋏は  
切れ味がいいですね。

体験会  
参加者様

### 剪定鋏の購入 Point

- ・剪定鋏は握力を込めやすい手の大きさに合ったものを選ぶ。
- ・2cmの太さの枝まで対応できる規格で、重量があるものが使いやすい。
- ・剪定鋏の研ぎ方についても覚え、ダイヤモンド砥石で研いで手入れをかかさないうにする。



体験会  
参加者様

### 剪定作業後の Point

- ・刈り取った枝葉の処分は剪定作業とは別料金のため、依頼見積もり時に意向を尋ねる。
- ・処分依頼の有無にかかわらず、剪定作業後は清掃を行う。
- ・竹箒の他にブローがあると清掃作業が楽。時間と体力的に購入するとよい。
- ・処分を依頼された場合は、軽トラックが必要となる。





### 剪定業務に係わる道具

- ・ヘッジトリマー 約2万~3万円
- ・ヘッジトリマーのバッテリー 約2万円
- ・ブロー 約2万8千円
- ・強力剪定鋏 約3千円~5千円
- ・その他(脚立、竹箒、ブルーシート、塵取り、軍手等)

※各種道具や処分する枝葉を積むための軽トラックの購入や維持管理は請け負う会員自身で行わなければならない。



実演見学



実演見学



剪定実習



剪定実習



質疑応答



質疑応答

#### (4) 閉式

県シルバー連合会の藤田様より閉式の御挨拶があった後、参加者へアンケート記入のお願いと、「就業体験会」は雇用保険給付中の方にとって「就業活動対象」となるため参加証明書が発行されるという説明と「剪定体験会」以外の「就業体験会」の御案内がありました。

#### (5) 入会説明会

入会説明会には、参加者の内の4名（入会登録をしたが説明会に参加していない会員1名を含む）が参加し、「シルバーの働き方」という15分程度のDVDを見ました。

入会については、「この場で決めても決めなくてもどちらでもよく、一度家に帰って検討し入会する場合はお近くの市町村シルバー人材センターで登録をすればよいこと、その際には給与等振込み先の通帳と筆記用具を持参するように。」との説明がありました。

また入会后には半日や1日の「就業体験会」だけでなく、様々な基礎知識を学べる5日間の「技能講習会」にも参加できるとの説明があった後、解散となりました。

その後、岐阜市からお越しの未会員様の希望を受け、岐阜市内の就業情報について個別相談が行われていました。

#### (6) 参加者の参加理由や感想など

山県市から参加のN様(63)

- ・シルバー人材センターには入会前で、「就業体験会」を幾つか試してみて、その上で入会を検討しようと考えています。
- ・今日の「剪定体験会」以外には、「遺跡発掘調査見学会」にも参加しました。
- ・2つの体験会に参加してとても良かったと思いますが、山県市のシルバー人材センターは規模が小さいみたいなので思うような仕事を紹介してもらえるか、そのあたりが気にかかっています。
- ・就業以外にも、生きがいづくり学習会を立ち上げて、地域を盛り上げたいと考えているので、その点からも、シルバー人材センターの「就業体験会」はとても興味深かったですね。

岐阜市から参加の T 様 (62)

- ・今は仕事をしていますが、セカンドの仕事(副業)について考えているところです。  
単発の仕事であれば掛け持ちできるかな、と。
- ・シニアがフルタイムで収入を得るのは体力的に難しいですね。  
それに、ハローワークでは50歳の壁、60歳の壁みたいな年齢制限があって、年を取るほど紹介していただけるものがなくなるのが現状で…。  
なので、シルバー人材センターをのぞいてみようと思いました。  
(※シルバー人材センターでは年齢の上制限はなく、また勤務時間は月10日間、週20時間を超えない規則となっている。但し、県知事から指定を受けた場合は、週40時間まで就業可能。)
- ・シルバー人材センターには入会前で、体験会も説明会も今日が初めてです。
- ・もともと剪定を勉強してみたかったことと、岐阜市のシルバー人材センターが初年度の年会費無料キャンペーン(令和4~6年度のキャンペーン)をしていると聞いたので、「剪定体験会」に参加してみることにしました。
- ・実は美濃市に管理している土地があって、以前、美濃市シルバー人材センターに剪定作業を依頼したことがあるんです。  
2日間かけて8名の方々に作業をしてもらって、作業後にはトラック4,5台分の枝や葉が出るくらい規模の大きな依頼だったのですが、その時にリーダーを務めていらっやったのが、今日講師をされていた小瀬木さんでしてね。  
「3m以上の木は登らないように。」とか仲間を気遣う指示をしてテキパキと動かれていた姿や、見積もり時に「処分費は作業代とは別途となっていて、量が多く結構な額になりそうですが、処分を依頼されますか?それとも御自身で処分場に持ち込まれますか?」と、予めちゃんとこちらの意向を確認してくださったことがとても好印象でした。
- ・シルバー人材センターはシニアだけが働いているところでしょう?  
“シルバー”とか、“シニア”という言葉に対して、何となくネガティブなイメージを持たれている方も世の中少なからずいらっやるかと思います。  
でも私の場合は、小瀬木さん達(美濃市シルバー人材センターの方々)と出会ったおかげで、入会する以前からシルバー人材センターのイメージって、とても良いんです。
- ・「剪定体験会」の会場が美濃市と知ってから、もしかしたら小瀬木さんに一目お会いできるかもと密かに楽しみにしていたのですが、まさか講師をしていただけるとは。  
今日ご縁があって再会でき、直接手ほどきまでしていただけて嬉しかったです。

## (7)取材後記

日本人って、何かをしていただいたらお返しをしないかと思いがちではないですか？

私自身、例えば、スーパーで試食をしたら買わないと申し訳なく思うとか、ストリートパフォーマンスを見たら投げ銭をしないといけないかしらと思うとか…ちょっと小市民的な気持ちになりやすかったりします。

そういった傾向から、皆さまの中にも「シルバー人材センターの『就業体験会』に参加したら、何だか入会しないと悪いような気がする。それだったら、始めから遠慮しておく方が無難かな。」と考える人も少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか。

ご安心ください!!

取材を通して、『就業体験会』は気軽に参加してもいいことが分かりました。

県シルバー連合会の藤田様によると、「『就業体験会』に参加して、できれば会員になって就業してほしいです。ただし、当然フルタイムで働いて収入を確保しなければならない方もいます。会員が働いているところを見る機会や、体験をする機会を持っていただき、何年か先にでも参加された方々が「やっぱりシルバー人材センターで働きたいなあ」と思ってくだされれば普及啓発として、嬉しいです。」とおっしゃいました。

私は藤田様のお話をお聞きして、『就業体験会』は“会員増”だけが目的なのではなく、“地域の皆さまの就業への興味付け”や、“既存会員や参加者の生きがいつくり”といった地域貢献の側面も同じくらい大きな目的として位置付けられていることが分かり、参加検討中に生じる気持ちのハードルを下げただけの気がしました。

シルバー人材センターで紹介していただける業務は各センターにより異なりますが、剪定業務以外にも様々なものがあります。

就業を考えていらっしゃる方は是非、別添の『令和6年度 講習会・就業体験パンフレット』と、『令和6年度 講習会・就業体験日程表』を確認して、興味を持った分野の『技能講習会』、『就業体験会』に参加するところから始めてみてください。(参加無料)

働き甲斐、お客様から感謝される喜び、仲間と過ごす楽しさが待っていることと思います。